

1-4. 安心・安全・安定した水道水の供給

(1) 現況と課題

本町の水道事業は昭和 39 年に事業創設の認可を受け、現在、高根沢町上水道と東部地区簡易水道により経営しています。また、水道未普及地域を解消するため、平成 5 年に上水道第三次拡張計画を中心とした経営変更認可を受け、平成 18 年度の完了を目標に全町水道整備事業を進めています。

一方、創設当初に建設した施設については、老朽化が著しく、更新の時期となっています。なかでも石綿セメント管は、経年により強度が低下し、漏水の原因となっています。また市街化区域の配水管未整備区域では、出水不良の危険性も懸念されます。

今後は、安全で安定した水道水の供給のため、老朽度や他の公共事業と連携を図りながら、計画的に更新する必要があります。しかしながら、管路の更新事業には多額の費用を要するため、水道加入率の向上や民間委託などによって、効率的な水道事業経営を実現することも重要な課題となります。

(2) 5年間の政策目標

- ①安全で安定した水道水を供給します。
- ②顧客志向を重視し、優れたサービスを提供します。
- ③効率的な水道事業経営を実現します。

(3) 施策

1-4-1. 石綿セメント管更新事業

より安全な水道水を供給するため、公共事業と連携を図りながら、老朽化した石綿セメント管を計画的に更新します。

| 指標 | 平成 16 年度 | 平成 22 年度 |
|------------------|----------|----------|
| 事業の進捗率 (単位：%) | 12.9% | 61.0% |

【事業】

- 石綿セメント管更新事業
- └ 配水管布設替工事費

【関連施策】

- 1-1-1 宝積寺駅西第一土地区画整理事業
- 1-2-1 幹線道路の整備
- 1-5-1 公共下水道污水管建設

1-4-2. 市街地配水管網整備事業

より安定した水道水供給のため、公共事業と連携を図りながら、宝積寺地区市街地内の配水管網を整備し、水量・水圧不足の解消に努めます。

1-4-3. 水道モニター制度の活用

需要者ニーズを的確に把握し、顧客満足度の高い水道事業を実現するため、水道モニター（※）制度の導入やホームページ活用による意見把握を行い、公聴の充実を図ります。

（※ 水道モニター：公募によりモニターを募り、地域における水圧・水量等水道に関する異常情報を受け対応する。）

(4) 効率化目標

①人件費削減

事業の一部の民間委託等、人件費等コストを削減します。

| 指標 | 平成 16 年度 | 平成 22 年度 |
|------------------|----------|----------|
| 人件費削減 (単位：千円) | 0 | 10,000千円 |

(5) サービス向上目標

- ・上下水道窓口業務を一元化し、上下水道使用料や各種申請手続の利便性を向上させます。
- ・給水開栓、休止等の届出に関して、従来の窓口直接申請をインターネットによる受付（申請）ができるよう改善し、顧客の利便性を図ります。